

令和6年度 白鷹町の教育

しらたかびと
学び、集い、笑顔かがやく白鷹人



白鷹町教育委員会

白鷹町教育目標

白鷹町は、人間性豊かな町民の育成をめざし、恵まれた自然の中で歴史と伝統を重んじ、自らの向上と生きがいのある生涯学習社会を実現するため、次の目標を設定する。

- 1 豊かな心を育み、創造力あふれる人間を育てる。
- 2 個性を尊重し、広く社会の発展に努める人間を育てる。
- 3 健康づくりに励み、たくましく生きる人間を育てる。
- 4 郷土の自然や文化を愛し、誇りと生きがいの持てる人間を育てる。

[平成9年4月制定 白鷹町教育委員会]

【 注 意 点 】

この計画に掲げる方針、主な施策等は、令和6年3月の当初予算案編成段階における内容です。

さまざまな社会情勢の変化に伴い、事業等が変更又は中止となる場合がございますので、ご容赦ください。

令和6年4月

I 一般方針

世界では、I o T（モノのインターネット）及びビッグデータ、A I（人工知能）、ロボティクス（ロボットテクノロジー）などがコアとなる技術革新が進行中で、わが国においても、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題解決を両立していく新たな社会「Society5.0」の実現を目指しています。一方で、不安定な国際情勢とそれに伴う燃料や食料等の高騰、国内では人口減少・少子高齢化やデフレ、所得格差、都市部一極集中などの大きな課題を抱えています。正に、VUCAな状態（先行きが不透明で、予測不可能な未来社会<Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 不透明性>）に陥っています。加えて、感染症5類に移行した新型コロナウイルス感染症、酷暑というべき気象変動、能登半島地震等一層先行き不透明で予測困難は時代になりました。

これらの社会情勢の中にあって、教育の今日的課題は多岐に亘りますが、1つに、新型コロナウイルス対応や熱中症予防等安全安心面で対策を講じながら、PDCAのサイクルを確立して学校教育、社会教育ともに教育振興に関する施策の充実や各種事業の展開が求められています。2つに、人口減少・少子化社会における教育という課題です。学校教育や社会教育を通して、「白鷹町でどんな子供たちを育てたいのか」「どんな地域・学校をつくりたいのか」、教育理念を共有し、地域と連携した学校教育や社会教育の在り方や施策に結びつけていかなければなりません。学校教育では、保護者や地域の皆が白鷹町で子育てをしたいと感じられるような「子供たちを安心して任せることのできる学校」が求められます。社会教育では、町民が生きがいを持つことができると共に、「白鷹町で暮らせてよかった」と心から思えるような施策の展開が必要です。3つに、不透明で予測困難な時代に対応した教育という課題です。学校教育では、一人一台端末によるICT教育、主体的・対話的で深い学びによる確かな学力の育成、英語教育を一層充実させていかなければなりません。加えて中学校の部活動の地域移行も具体的・計画的に進めなければなりません。社会教育では、子供から高齢者までの多様な学習ニーズに対応した魅力ある学習機会や発表の場の提供に努めなければなりません。

白鷹町教育委員会では、白鷹町第6次総合計画前期基本計画並びに地方創生総合戦略を踏まえ、第2期「白鷹町教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」に基づき「夢を持ち郷土を愛する『ひと』づくり」を基底に、誰一人取り残さないで全ての子供たちの可能性を引き出し「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成に向けて以下の取組を推進します。

学校教育では、「元気で信頼される郷土の学校づくり」を核に、安全安心な学校づくり（感染症対策や熱中症予防等）、学力向上の取組（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実）、ICTを活用した教育の推進（GIGAスクール構想）、不登校・不適応児童生徒への指導の充実、体験活動を通じた郷土愛を醸成するふるさと学習の推進、特別支援教育の充実（インクルーシブ教育の推進）、英語教育の推進、教職員の資質向上、学校運営協議会制度の推進、学校の働き方改革の推進、幼保小中連携の推進、学校教育環境整備、中等教育機関である県立荒砥高等学校及び白鷹高等専修学校の支援充実に努めていきます。

生涯学習・文化振興・生涯スポーツでは、新生涯学習振興計画を基底に据え、「健康で創造性豊かな人づくり」を核に、感染症対策や熱中症予防に万全を期し、各種活動、行事、大会を行います。また、まちづくり複合施設（白鷹町立図書館）や白鷹町文化交流センター「あゆーむ」、白鷹町歴史民俗資料館「あゆみしる」を拠点とした生涯学習と芸術文化活動の振興、生涯スポーツへの支援、白鷹町スポーツ協会運営強化への支援に加え、施設設備の充実に向けて取り組んでいきます。

各分野の具体的な施策については次項以降に示します。

Ⅱ 学校教育分野

1 方針（施策の展開方向）

- (1) 知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成
 - ①確かな学力を身につけ、自ら学び、学びを生かす力の育成
 - ②グローバルな視野や英語力の育成
 - ③急速に発達するICTに対応できる能力の育成
 - ④心豊かなたくましい子供を育む教育の充実
- (2) 自他のいのちを大切にし、共生社会の実現に向けた教育の推進
 - ①いのちを大切にする子供の育成
 - ②共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進
- (3) 地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進
 - ①地域の産業や文化等への理解を深め郷土愛を育む「ふるさと学習」の推進
 - ②信頼される学校づくり
 - ③「白鷹スタンダード」の推進と家庭での教育力の向上
 - ④県立荒砥高等学校の魅力づくり、白鷹高等専修学校への支援
 - ⑤いのちを大切にする子供の育成【再掲】
 - ⑥グローバルな視野や英語力の育成【再掲】
 - ⑦急速に発達するICTに対応できる能力の育成【再掲】

2 主な施策

本町におけるGIGAスクール構想を推進し、ICT教育を実践する中で、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向け、ICT支援員配置による授業支援を継続するほか、教職員向けの活用研修等を継続し、1人1台端末をさらに効果的に活用した学習がスムーズかつ効果的に行われるよう支援します。英語力の向上に向けては、ALT4名の配置とともに、英語4技能の診断・評価・指導改善を行う検定プログラムを継続し、英語教育の充実を図ります。また、学力向上に向けた指導体制を継続するとともに、学校生活支援員とスクールカウンセラーの継続配置によりきめ細やかな支援体制を確保します。加えて、各小・中学校に設置したコミュニティスクール（学校運営協議会）による、地域住民や保護者等が学校運営に積極的に参画し、地域ぐるみで子供を育てる環境を整備するほか、学校の安全を確保するため、白鷹中学校体育館床等の改修や空調設備の整備に加え、課題となっているグラウンド排水対策の設計業務にも着手してまいります。さらに、学校給食費支援、スキー授業のリフト無償利用、新入学児童へのランドセル贈呈など子育て支援策を推進するとともに、老朽化した学校施設の改修、中学校の部活動指導員の配置、全小・中学校での紅花栽培に継続して取り組みます。

荒砥高等学校支援関連では、「荒砥高等学校魅力化計画（令和5年度～7年度）」を基に、地域連携協議会による高校魅力化に取り組むとともに、荒砥高等学校活性化事業を拡充し入学生の確保を図ります。また、白鷹高等専修学校関連では、教育体制の充実に向けた置賜管内各市町と連携した支援を継続します。

学校給食共同調理場では、安全安心な給食の提供に向け、調理等業務委託を継続し、地産地消を進めながら、これまで同様に給食の味・品質の確保に努めます。

3 具体策

知・徳・体が調和し、社会の変化に対応できる白鷹の子供の育成		
確かな学力を身につけ、自ら学び、学びを生かす力の育成	基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った単元を通して「学習意欲」と「考える力」が身に付く授業づくり ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成 ・主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業づくり ・適切な学習評価と家庭学習への接続 ・全国学力・学習状況調査の実施と評価 ・知能テスト、標準学力テストの実施と評価 ・教育委員会学校訪問 ・校長会、教頭会への指導・助言 ・指導主事による学校訪問（授業参観・相談）
	少人数指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態・学び方の工夫 ・個に応じた適切な指導 ・わかる喜びや学ぶ意味を実感する授業 ・一人一人が尊重される学習集団づくり
	心が通い合うコミュニケーション力を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験」「対話」を取り入れた、感動・実感・納得のある授業 ・見方、考え方の違いが大切にされ、安心して自己表現できる授業
	教員の指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修会 ・教職10年経験者研修会 ・いじめ・不登校等対応研修会 ・各種研修会への参加奨励 ・県教委、他市町村教委との連携 ・学校教育研究所各専門部活動の充実 ・学校教育研究所各種委員会活動の充実 ・派遣研修の奨励 ・法令順守の徹底 ・勤務時間の適正管理 ・健康管理・メンタルヘルスの徹底 ・校内倫理委員会の設置
グローバルな視野や英語力の育成	グローバルな視野を持った人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs（持続可能な開発目標）等グローバル化への対応 ・青少年国際交流事業
	英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間学習と授業とのハイブリット型授業 ・英語4技能検定（GTEC）の取組 ・ALTの4名配置と活用
急速に発達するICTに対応できる能力の育成	情報教育の充実（GIGAスクール構想の推進）	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育環境の整備（GIGAスクール構想対応） ・デジタル教科書の活用
	対応能力の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員を活用した情報活用能力の育成

心豊かなたくましい子供を育む教育の充実	体力・運動能力の向上、スポーツ大会への参加奨励	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる・わかる」喜びを味わわせる体育授業と運動環境づくり ・計画的な体力づくり運動の実施 ・スポーツテストの実施と評価 ・部活動指導員の配置 ・若鮎マラソン大会、町水泳大会、町スキー大会 ・小学校陸上大会 ・中体連体育大会 ・学校スキー授業におけるリフト使用の無料化
	保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・身体測定・健康診断 ・生活リズムの確立 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動 ・生活実態調査 ・薬物乱用防止教室
	食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を核とした食育指導 ・心を育む学校給食週間 ・郷土食伝承事業 ・総合的な学習の時間における食農教育 ・学校保健委員会 ・学校給食費への支援
	安全で快適な学校教育環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設、設備の維持管理 ・白鷹中学校施設改修事業 ・学校安全計画の策定と実施 ・校内外安全点検 ・通学路危険個所の安全点検 ・子ども見守り隊の組織 ・スクールバスの運行 ・通学費補助 ・防災無線の活用 ・緊急配信メールの活用 ・避難訓練 ・不審者対応訓練 ・交通安全教室 ・登下校の安全指導

自他のいのちを大切に、共生社会の実現に向けた教育の推進		
いのちを大切に にする子供の 育成	いのちの教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の実践上の4つの視点（「自己存在感の感受」、「共感的な人間関係の育成」、「自己決定の場の提供」、「安全・安心な風土の醸成」）を生かした適切な支援 ・好ましい人間関係を基盤とした生徒指導の推進 ・いのちの尊さを実感する教育の推進 ・スクールガードリーダーの配置
	いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制の確立 ・教育相談担当者連絡協議会の開催 ・スクールカウンセラーとの連携 ・いじめ・不登校等対応研修会の実施 ・町教育相談員の配置・活用 ・要保護・準要保護児童生徒への就学援助 ・特別支援教育就学奨励費の支給
	カウンセリング教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町独自のスクールカウンセラーの派遣

	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の時間」を要(か)めとした指導 ・人権教育の推進
	不測の事態（自然災害・感染症など）に対する意識の高い子供の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に安全な避難行動ができる防災意識の醸成 ・感染症予防に関する正しい知識の習得・実践 ・防災用品の配備・活用
共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活支援員、特別支援教育相談員の配置 ・教育支援委員会の設置 ・特別支援教育コーディネーターの育成（研修会の実施） ・個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた指導内容と指導方法の工夫
	インクルーシブ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人格と個性を尊重し合い互いに認め合えるインクルーシブ教育システムの構築 ・インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の発展

地域・人を知り郷土愛を育む教育と質の高い教育の推進		
地域の産業や文化等への理解を深め郷土愛を育む「ふるさと教育」の推進	特色ある学校経営推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題の明確化 ・学校教育目標の具現化 ・特色ある教育課程の編成 ・組織マネジメント ・学校経営計画の作成 ・学校だより等の発行 ・地域貢献の視点を踏まえた「ふるさと教育」の実践
	郷土愛の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・「1学級1新聞」の取組（新聞記事データベースの活用） ・郷土愛を育む教育の推進（紅花栽培等） ・新入学児童へのランドセルの贈呈
	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の体系化 ・望ましい職業観・勤労観の育成 ・社会適応力の育成 ・中学校・荒砥高等学校・白鷹高等専修学校の就業体験活動への支援
信頼される学校づくり	コミュニティスクールの推進（開かれた学校づくりの推進）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の設置（コミュニティスクールの推進） ・自己評価・教員評価 ・学校関係者評価 ・地域・保護者・児童アンケートの実施 ・PTAと連携した規則正しい生活習慣づくり ・PTAと連携した家庭学習の習慣づくり ・学校保健委員会 ・学校後援会 ・地域学校協働本部事業（地域コーディネーター2名配置）
	地域の関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室・放課後児童クラブとの連携 ・白鷹町PTA連絡協議会との連携 ・コミュニティセンターとの連携 ・白鷹町スポーツ協会との連携 ・地区体育振興会との連携 ・青少年育成町民会議との連携 ・白鷹町商工会との連携 ・地区民生児童委員協議会との連携

「白鷹スタンダード」の推進と家庭での教育力向上	「白鷹スタンダード」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「白鷹スタンダード」の実践
	家庭での教育力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに役立つ研修会の開催・気軽に参加できる研修の場の提供 ・研修の場への保護者の勧誘 ・幼保小連携スタートプログラムに基づいた保育園と小学校の交流・連携
県立荒砥高等学校の魅力づくり、白鷹高等専修学校への支援	荒砥高校への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・荒砥高等学校新入生応援事業 ・荒砥高等学校活性化事業
	地域連携協議会の活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力化に向けた地域連携協議会の開催 ・地域連携協議会を中心とした荒砥高校魅力化計画の実践 ・高校魅力化コーディネーターの配置
	学校間交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校間、小学校と中学校の交流・連携 ・中学校と荒砥高等学校の交流・連携 ・小中間教員の授業交流 ・教員の相互交流・連携
	白鷹高等専修学校への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・白鷹高等専修学校運営補助・施設整備補助 ・教育充実支援負担金

Ⅲ 生涯学習分野

1 方針（施策の展開方向）

（1）生涯学習推進体制の整備

- ①専門的職員の養成・配置と職員及び指導者の研修充実
- ②社会教育委員会議の充実
- ③社会教育としての学習機会の提供

（2）生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援

- ①各種団体支援とリーダー育成
- ②各地区コミュニティセンターと連携した生涯学習活動の活性化

（3）町立図書館の充実

- ①読書活動推進の場としての図書館の充実
- ②町立図書館及び中央公民館の効果的な運営体制の整備

2 主な施策

生涯学習については、令和4年度からスタートした新たな生涯学習計画に基づき、豊かな地域社会を維持・発展させるため、他者とのかかわりの中で学び合い、育て合い、絆を深め、豊かなつながりを形成し、誰もが健康で地域で活躍できるよう人材育成と環境整備を図ります。

学びの機会の充実と人づくりに向け、多様な学習機会の創出を図る白鷹学講座開催支援事業や、子供たちの体験活動を通して社会力の育成等を図る放課後子ども教室、小中学校が行う家庭教育講座などの開催を引き続き支援します。

地域学校協働本部事業では、コミュニティスクールと連携し、さらなる地域と学校との連携強化、地域の教育力の向上を目指します。また、小中学生・高校生等のスポーツ・文化活動における成績優秀者への激励金交付事業についても引き続き実施します。

地域活動や各種団体活動の推進では、青少年育成団体や婦人会など各団体活動を支援しながら各地区コミュニティセンターと連携して取り組みます。

中央公民館については、町立図書館との連携を図りながら、利用する人の視点に立ち、町民の皆さんに親しんでいただける施設の運営に努めます。

図書館については、図書館システムや読書通帳等を活用するとともに、お話の会の充実や本に関する講演会の開催など読書活動を積極的に推進し、誰もが足を運びたくなる魅力ある図書館づくりを進めます。図書館司書の小・中学校への派遣による学校図書館の運営支援も引き続き行い、さらに小・中学校をはじめ各地区コミュニティセンターや保育園等との連携強化を図り、「本」でつながる図書館づくりを進めます。

3 具体策

生涯学習推進体制の整備	
専門的職員の養成・配置と職員及び指導者の研修充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各年代層に合った学びの機会の提供 ・自主団体が開催する講座、学習活動の支援
社会教育委員会議の充実	
社会教育としての学習機会の提供	
生涯学習としての自発的な学習活動に対する支援	
各種団体支援とリーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人主体による二十歳のつどいの開催 ・青少年育成推進員、青少年育成町民会議、子ども会育成会等との連携及び支援 ・学校支援活動の充実 ・放課後子ども総合プランの推進 ・家庭教育推進講座、幼児共育事業の開催 ・食育推進に重点をおいた連携事業の実施 ・子育て・家庭教育情報通信の発行 ・啓発活動や家庭教育講座による外遊びの奨励 ・中学生・高校生ボランティアの育成 ・成績優秀者激励金の交付 ・白鷹学講座開催支援事業の実施 ・生涯学習推進基金活用による自主研修活動の支援 ・婦人会、女性の会の活動支援 ・子ども会育成会、PTA活動の支援 ・世代間交流の推進 ・生涯学習関係職員、コミュニティセンター職員等の研修機会の確保
各地区コミュニティセンターと連携した生涯学習活動の活性化	
町立図書館の充実	
読書活動推進の場としての図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文コンクールの実施 ・おはなしの会の開催 ・情報提供・相談業務の実施 ・本のリサイクル市の開催 ・蔵書の充実 ・利用しやすく魅力的な図書館づくり ・学校図書室への司書派遣 ・効率的な運営体制の検討 ・複合施設としての管理運営 ・佐藤文隆文庫の利用促進
町立図書館及び中央公民館の効果的な運営体制の整備	

IV 文化振興分野

1 方針（施策の展開方向）

（1）文化力の向上

- ①自主的な芸術文化活動の促進と支援、文化交流の推進
- ②芸術文化に触れる機会の拡充と芸術文化の普及推進
- ③他市町村の芸術文化団体との連携

④文化交流センター「あゆ一む」の活動支援

(2) 文化財等の保護と活用

①各種史跡や文化財等の計画的な調査と保護並びに保管と整理

②薬師ザクラなどの古典桜の保護

③伝統文化の保存と活用

④史跡や文化財、古典桜等の地域資源としての活用

(3) 歴史・文化の学習環境の充実

①歴史や文化等を学ぶ機会の充実

②歴史民俗資料館「あゆみしる」を拠点とした歴史・民俗資料の調査及び保存・活用

③本町に関わりのある功績を残された方の調査、記録

2 主な施策

芸術文化については、文化団体の育成・支援に重点を置き、町芸術文化協会との連携による芸術祭の開催をはじめとして、子供たちの芸術文化活動支援、各種団体の育成に努めます。文化交流センター「あゆ一む」では、「文化・交流・人づくり」によるまちづくりの拠点施設として事業を推進するとともに、梅津五郎画伯や飯鉢王朝画伯の絵画の修復等を行い、寄贈絵画の保存・活用を図ります。

文化財関連については、歴史民俗資料館「あゆみしる」を歴史・文化の発信拠点として、効果的な運営に努めていくとともに、民具を活用した企画展やワークショップのほか、町誕生から70年の歩みを探求する事業等を開催し、多くの方に親しまれる施設づくりを進めます。

3 具体策

文化力の向上	
自主的な芸術文化活動の促進と支援、文化交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協会の活動支援 ・芸術祭の開催 ・伝統芸能保存伝承活動の支援 ・子ども主体の芸術団体の育成支援 ・文化交流センターの運営管理委託による効果的な事業の展開 ・教育機関、芸術文化団体との交流・連携 ・寄贈絵画の修復・保存・活用
芸術文化に触れる機会の拡充と芸術文化の普及推進	
他市町村の芸術文化団体との連携	
白鷹町文化交流センター「あゆむ」の活動支援	
文化財等の保護と活用	
各種史跡や文化財等の計画的な調査と保護並びに保管と整理	<ul style="list-style-type: none"> ・薬師ザクラなどの古典桜を地元保存会等と連携し保存に努める ・国・県・町指定文化財の保護、管理、調査と維持管理 ・文化財史料や古文書の調査 ・あゆみしるに所蔵した資料の整理、研究
史跡や文化財、古典桜等の地域資源としての活用	
伝統文化の保存と活用	
歴史・文化の学習環境の充実	
歴史民俗資料館「あゆみしる」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみしる、山峡紅の里、図書館、あゆむ等の連携による効率的な事業の実施 ・学芸員の配置 ・あゆみしるでの企画展及びイベントの開催
歴史や文化等を学ぶ機会の充実	
歴史・民俗資料の調査・整理・保存と活用	
史跡や文化財、古典桜等の地域資源としての活用	

V 生涯スポーツ分野

1 方針（施策の展開方向）

- (1) 健康、体力づくりに向け各年代にあったスポーツ活動の推進
 - ①健康・体力づくりのためのスポーツ活動の推進
 - ②地域におけるスポーツ活動の推進
 - ③スポーツ少年団活動の推進
 - ④各種大会の開催や各種スポーツの普及啓発
 - ⑤スポーツ活動の推進に向けた各学校の体育施設開放
- (2) スポーツ協会や各種団体の育成
 - ①スポーツ協会の体制強化
 - ②指導者の育成と派遣可能な体制整備
 - ③各地区社会体育振興会活動の推進、地域指導者の育成
- (3) スポーツ施設の整備・充実
 - ①魅力あるスポーツ施設の充実と計画的な整備改修
 - ②冬期間のスポーツ活動の拠点である白鷹スキー場の活用
 - ③ホストタウン交流の推進

2 主な施策

子供のスポーツ機会の充実や若者のスポーツ参加機会の拡充、高齢者の体力づくり支援などライフステージに応じたスポーツ活動の推進、町民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備に総合的に取り組み、気軽にスポーツに親しめる環境づくりを行います。

各種スポーツ団体の育成や活動を支援し、地区対抗駅伝競走大会や若鮎マラソン大会などの各種スポーツ大会を70周年の記念大会として、関係団体等と連携を図りながら取組を進めます。また、町民武道館の空調設備の機能強化を行うほか、スポーツ協会においては総合型地域スポーツクラブ事業を継続実施しており、その取組に対し支援します。

さらに、ホストタウン事業としては青少年や国内外のスポーツ選手等との交流推進に向けて、関係団体と連携して取り組んでまいります。

3 具体策

健康、体力づくりに向け各年代に合ったスポーツ活動の推進	
健康・体力づくりのためのスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各年代の日常的なスポーツ環境の整備 ・総合型地域スポーツクラブを通じたスポーツの普及 ・スポーツ協会と連携した町大会等の開催 ・スポーツ少年団活動支援 ・若鮎マラソン大会の実施 ・町誕生記念地区対抗駅伝競走大会の実施 ・町民水泳大会の実施 ・町民スキー大会の実施 ・各スポーツ施設及び学校体育施設一般開放
地域におけるスポーツ活動の推進	
スポーツ少年団活動の推進	
各種大会の開催や各種スポーツの普及啓発	
スポーツ活動の推進に向けた各学校の体育施設開放	
スポーツ協会や各種団体の育成	
スポーツ協会の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会体制強化支援 ・スポーツ振興基金を活用した選手育成 ・スポーツ協会と連携したスポーツ指導者の育成 ・スポーツ少年団の指導者育成 ・全国大会出場者への支援
指導者の育成と派遣可能な体制整備	
各地区社会体育振興会活動の推進、地域指導者の育成	
スポーツ施設の整備・充実	
魅力あるスポーツ施設の充実と計画的な整備改修	<ul style="list-style-type: none"> ・中丸公園スポーツ施設の管理 ・蚕桑紬パーク、東陽グラウンド、白鷹町武道館の管理 ・白鷹町営スキー場の運営管理
冬期間のスポーツ活動の拠点である白鷹スキー場の活用	
ホストタウン交流の推進	